

訴訟の略称	事件番号	請求金額	訴訟の概要
	東京地裁平成 14 年(り)第 25458 号	151	トンネル建設工事で粉じん作業に従事した労働者が、じん肺に罹患した責任は国にあるとして損害賠償を請求したもの。18. 7. 7敗訴。東京高裁へ控訴済み。(国土交通省、農林水産省、防衛施設庁と共に)
手術・診療治療に対する医療訴訟	甲府地裁平成 14 年(り)第 312 号	810	舌癌再発下顎全摘術後に身体障害が発生したとして、患者が損害賠償を請求したもの。
原爆症認定申請却下処分取消等請求事件	大阪高裁平成 18 年(行)第 58 号 その他 89 件	576	医療認定申請却下処分の取消及び損害賠償を請求したもの。
MMR訴訟	大阪高裁平成 15 年(祁)第 1329 号	350	MMRワクチン(乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン)の接種により後遺障害及び死亡したとして損害賠償を請求したもの。
予防接種損害賠償請求事件	大阪高裁平成 15 年(祁)第 1328 号	289	MMRワクチン接種後に死亡し、又は後遺障害が残ったとして逸失利益及び慰謝料等の損害賠償を請求したもの。
	福島地裁いわき支部平成 15 年(り)第 72 号	89	種痘の予防接種を受け、障害になったことに対して、国、都、市に損害賠償を請求したもの。
損害賠償請求事件 (医療事故繰り返し医師不処分)	津地裁四日市支部平成 15 年(り)第 1 号	172	酔酒ショックにより意識不明状態となった産婦の夫らが、主治医及び国に対して損害賠償を請求。国に対しては、右主治医は過去に医療ミスを起こしており医師法を適切に運用し行政処分を行っていれば本件事故は起らなかつたとし、国の違法な不作為による損害として賠償を請求したもの。
C J D訴訟	東京地裁平成 13 年(り)第 23774 号 外 14 件	170	ヒト乾燥硬膜の移植を受けて、ケイツェル・ヤブ病に罹患したとして損害賠償を請求したもの。平成 14 年 3 月 25 日基本和解合意。
手術・診療治療に対する医療訴訟	大阪地裁平成 15 年(り)第 4492 号	150	脳動静脈奇形の治療の際の過失により後遺障害が発生したとして、患者が損害賠償を請求したもの。
イレッサ訴訟	東京地裁平成 16 年(り)第 25016 号 東京地裁平成 18 年(り)第 2108 号 大阪地裁平成 16 年(り)第 7990 号 大阪地裁平成 16 年(り)第 207 号 大阪地裁平成 17 年(り)第 3935 号 大阪地裁平成 17 年(り)第 7426 号	148	肺癌治療薬「イレッサ錠 250」の副作用により間質性肺炎を発症又は死亡したとして損害賠償を請求したもの。
損害賠償請求事件	大阪地裁平成 14 年(り)第 7614 号 大阪高裁平成 16 年(祁)第 3560 号	140	看護師の死亡について、遺族が損害賠償を請求したもの。
手術・診療治療に対する医療訴訟	東京地裁平成 17 年(り)第 23042 号	131	水頭症の VA シャント術の失敗を繰り返した上、呼吸困難の状況に対し適切な処置をしなかつたため死亡した等として、患者の遺族が損害賠償を請求したもの。
手術・診療治療に対する医療訴訟	東京地裁平成 17 年(り)第 18088 号	132	腫瘍摘出術後に障害が後遺したのは、頸髄神経根の損傷に起因するものである等として、患者が損害賠償を請求したもの。